

学校 教育 目標	『かがやいている子』							
	◎課題解決に向けてねばり強くやりとげる子を育てます(知) ◎自他のよさを認めて行動する思いやりのある子を育てます(徳) ◎自他の生命を大切にす元気で明るい子を育てます(体) ◎人や自然、地域を大切に、自らできることを実践する子を育てます(公) ◎様々な人とのコミュニケーションを通して、視野を広げ、深く考える子を育てます(開)							
学校 概要	創立 141 周年	学校長	森脇 信行	副校長	大嶽 賢司	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 311 人		主な関係校: 橋中学校・左近山中学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力>	橋中学校 藤塚小学校 初音が丘小学 校 仏向小学校	自他を大切に、互いに認め合える子ども 言語能力を高めながら、自ら進んで学び合う子ども ・小中授業研のテーマとして中学校は「自分づくり」小学校は「言語活動」に重点を おき小中連携した資質能力の育成を目指す。 ・小中ブロックでの子どもと向き合う視点を明確にすることで、職員の意識改革に つなげる。

中期 取組 目標	◎子どもたち全員が、『自分大好き！今井大好き！』『自分ってなかなかやるじゃん！』と思えるように、子ども一人ひとりを大切に、今井の地域に生きる子どもを育てます。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、問題解決を通して子どもの表現力を引き出し、伸ばしながら学力を向上させます。 ・子ども一人ひとりが、自分の居場所や自尊感情がもてるよう、指導・承認・賞賛・励ましをタイムリーに行います。 ・命の尊さを実感し、健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・「地域の行事」に意欲的に参加し、豊かな体験の中で「人」とのつながりを意識し『今井大好き！』な子どもを育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当	①子どもたちが課題を自分ごととしてとらえ、見方・考え方を広げられる特別活動の授業を目指していく。そこで得た学び方や人間関係を他の教科に結び付け、子どもたちが確かな学力を身に付けられる授業を行う。②全校一斉プリント学習タイムを継続し、基礎的な学力を育成する。
豊かな心 担当	①たてわり活動を通して、学級集団だけでなく異年齢同士のつながりを築く。②昨年度実施できなかった「どうぞよろしくの会」や「ふれあい給食」を行い、様々な地域の方を知り、ふれあうことで、人とのつながりを大切に、感謝の気持ちをもって接する子どもを育成する。③発達段階に適した人権啓発活動等を計画・実施し、豊かな土壌を育成する。
健やかな体 担当	①「歯磨きタイム」に全校で継続的に取り組み、正しい歯磨きの定着を図る。②一校一実践運動では委員会活動を中心に休み時間を使って「大縄集会」、「スポーツタイム」を行い、計画的、継続的に取り組んでいく。③学校栄養士と連携しながら、全学級で食育に関する指導を継続的に行う。
児童生徒指導 担当	①基本的な生活習慣の定着を図り、あいさつ運動を代表委員会等で取り上げ、子どもたちの活動として継続的に取り組む。②子どもたちとの信頼関係を日々の関わりの中で築きながら、ルールを守ることを指導し、規範意識の育成を図る。③週2回、児童の様子を共有する場を設け、全職員で児童指導にあたる。
安全管理 担当	①月に一回以上の避難訓練を通して、教職員と子どもたちがともに適切な対応ができるようにする。②昨年度実施できなかった交通安全教室では、各関係機関と連携して、正しい自転車の乗り方や歩行の仕方を身につける。また、スクールゾーン対策協議会で話し合う内容は、保護者児童に周知し、安全に安心して生活できるように努める。
特別支援 担当	①子ども理解や特性理解を深めるために、校内研修を行う。また必要に応じて随時学年研やブロック研をもったり、他機関と連携をとったりする。②個別支援級の児童がいない学年でも、あそびの交流等を行うことで個別支援級への理解を深める。③ユニバーサルデザインの意識を高め、児童が落ち着く環境づくりを行う。
地域連携 担当	①感染症対策を行いながら、今井のまちや自然、地域の方々に触れ、地域のよさに気付き大切に育てる子どもを育てる。②子どもたちが地域の方々とふれ合うことで、感謝の気持ちをもてるよう、集会や授業を計画する。③地域懇談会では、情報交換をしながら地域で育つ子どもたちの目指す姿を共有していく。
#REF! 担当	
いじめへの対応 担当	①月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。②だれもが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくり・集団づくりに努める。③いじめ防止研修児童アンケート(年2回)を実施し些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当	①メンターチームでは、若年層の教師が課題を共有し、解決策を考え、ミドルリーダーに指導・助言を聞きながら、教師力を 向上させていく。②全教職員が、学校運営上の諸課題を共有・共通理解し、課題解決・働き方改革を図るチーム作りを行い、定期的に振り返り・改善をしていく。